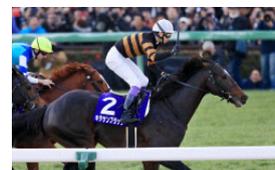


DF技術部会瓦版第45号

発行：2017年12月28日 世話役：立石 裕夫 副世話役：成田 嘉宏
編集・文責：成田 嘉宏



例会 12月15日（金）
14時：例会 昭和大学 薬学部講堂 …… 出席者 38名
17時：懇親会 昭和大学レストラン …… 出席者 43名



【目次】

活動報告	立石 裕夫 世話役
新入会員紹介	石川 甚秀会員、丸山 昭洋会員
事務局連絡	保坂事務局長
分科会活動報告	
・ 経済産業懇話会	浅野 応孝 会員
・ 理科実験グループ	眞弓 博司会員
・ リスクセス研究会	中田 邦臣 会員（立石世話役代理報告）
・ 医療懇話会活動報告	赤堀 智行 会員
講話 「大腸がんについて」	
講師	昭和大学 内視鏡センター長 山村 冬彦 准教授
次回例会のご案内	
編集後記	（世話役、編集者）

活動報告 立石世話役

立石世話役から、今年度ミッションを確認した後、以下の報告がありました。

活動報告

- ・ 工場見学会 11月14日、15日 株式会社ブリヂストン 栃木工場
参加 24名、
- ・ 工場見学会会計報告



- ・ 技術部会ホームページ改訂について

2013年以降改訂未実施なので現状の活動にマッチした内容に改訂案を作成済み。

また、ホームページ閲覧の際のパスワードを外すこととした。

新入会員の紹介

- ・ 石川 甚秀 氏、丸山 昭洋 氏より、ご挨拶があった。

来年度世話役、副世話役の紹介

- ・ 世話役 成田 嘉宏 会員 副世話役 酒井 和幸 会員。

立石世話役の説明資料は、こちらをご覧ください

新入会員紹介

石川 甚秀さん 自己紹介

今年の8月末に入会させて頂きました1195番の石川甚秀(やすひで)でございます。

3月末に三菱化学物流株式会社(現三菱ケミカル物流株式会社)をリタイヤし、顧問となり、昔の上司であります浅野 応孝様のご紹介を頂きまして、DF(ディレクトフォース)に入会したところでございます。私は、昭和52年に当時の三菱化成工業株式会社(現三菱ケミカル株式会社)に入社し、水島工場で約20年間石油化学の現場でプラントの新

増設、合理化、生産管理等を経験した後、本社の事業部7年、四日市事業所2年、本社の技術部2年、また水島事業所に4年間勤務し、その後、今年の春まで5年間三菱化学物流株式会社に勤務したという経歴でございます。従いまして、石油化学関係の生産技術、製造、技術ライセンス、営業、事業所工場管理、物流管理等で会社生活40年を過ごしてきたところでございますが、その間に、浅野 応孝様、や成田 嘉宏様中村 悠一様が上司でもありましてお世話になっておりました。また、事業部勤務の頃に、神永 剛様には、ビジネス上でお世話になっておりました。

ところで、これからの少しゆとりのある時間で、スポーツは、下手の横好きなゴルフとウォーキングをし、教養、文化活動は、これから何をしようと模索しながら、また社会貢献は、DFで皆様にご指導いただきながら、理科実験等やその他、明るく楽しく、参加していきたいと考えているところです。よろしくお願い申し上げます。



丸山 昭洋さん自己紹介

今年の9月に DF メンバーに加えていただきました
「丸山 昭洋」と申します。



入会のキッカケは、前職時代に同期入社であった友人からの紹介です(ちなみに彼はあまり DF で活動していないとのこと)。退職後の生活も次第に落ち着き、ちょうどこれから何をして行こうか、何が出来るのか・・・、と考え始めた矢先でした。

ご縁を得て DF の皆様とご一緒できることをありがたく思っております。

さて簡単に自己紹介をいたします。

東京都下の昭島市で生まれ育ち、1979年にブリヂストンの横浜工場で社会人のスタートを切りました。携わった仕事は樹脂の材料開発、樹脂製品の設計、工場の製造技術、海外工場建設等々ですが、製品としては「自動車用のウレタンシートパッド」との関わりが最も長くなります。

勤務地は「横浜」-「防府（山口）」-「横浜」-「小平」-「富士宮（静岡）」と変遷し最後に「東京」の関連会社で仕事を締めくくりました。

現在は目の前に畑のある のどかな町田市に住んでおりますが、今年 2 月末に退職し新たな生活を組み立てつつあります。

一向に上達しないゴルフを改善すべく地元のゴルフ教室へ、妻と一緒に町田市 健康教室へ、ビートルズを奏でるべくピアノ教室へ 等々 色々とならに間口を広げ始めていますが願わくば心身ともに生き生きとした生活を持ち続けたいものです。

新たに始まった DF での活動はその実現に向けた必須のピースになるのではと感じております。改めまして宜しくお願い致します。

2017 年もあと僅かとなりますが、どうぞ皆様 お体を大切に、度重なる忘年会も乗り越え良いお年をお迎えください。

ちなみに私は、年も押し迫った 27 日に上野動物園に行ってきます。妻がシャンシャンの公開観覧に応募したところ見事 抽選に当たりました、とても楽しみです！！

丸山 昭洋 会員 NO.1197

事務局連絡 保坂事務局長

保坂事務局長より以下のお話がありました。

- ・ 15周年記念パーティが赤堀さんの協力で成功裡に終わることが出来た。
- ・ DFの前年度末は、7百万円の赤字であったが、現状、9百万円の黒字で推移している



事務局より、以下の3点の協力要請があった。

- ・ 観光立国研究会が「旅の本」第2集発行の寄稿者募集に参加の要請があった。
- ・ DFの勉強会企画サポーターに参加の依頼。
- ・ DF関西支部を設立したが現状の会員数は15名。会員募集に協力依頼。

分科会報告

1. 経済・産業懇話会

浅野 応孝リーダーより以下の報告がありました。

- ・ 9月は、予定を変更し特別企画 日本の将来「不安な個人・立ちすくむ国家」経済産業省若手プロジェクトの危機感に、OBとしての答えを討議し、懇話会の意見を若手プロジェクトに提案すべく、経済産業省と接触し、来年1月に意見交換を実施の予定。
- ・ 10月、山崎雅史さんに「自動運転と今後の課題」、11月、味の素川崎工場見学会と加藤敏久氏（元常務執行役員 イノベーション研究所長）にアミノ酸の講話実施しました。
- ・ 12月は、技術部会会員の横山祐作さんから、「製薬産業の現状と課題」について講演していただく予定です。



浅野リーダーの説明資料は、こちらをご覧ください。

2. 理科実験グループ

眞弓博司サブリーダーより次の報告がありました。

初めに、リーダーは、神永さんから眞弓さんに交代し、サブリーダー関口洋一さんが就任する来年度の新体制の発表があり、ご両名より就任挨拶があった。

- ・ 2017年のイベント数 163回で前年を12回上回る予定。
- ・ 8月は、過去最高記録の24回実施した。3Q,4Q共に、過去最高のイベント数であった。
- ・ 現在会員数 78名で会員の60%が戦後生まれになった。
- ・ 子どもゆめ基金の支援で、DF主催のサイエンスフェスティバルを来年7月飯能市で実



施予定。

- ・ これまで、授業対象は、大部分、小学生であったが、中学生向けが増加傾向にあり、参加講師のレベルアップ、テーマのレベルアップ並びにプレゼン方法の吟味が急務となっている。

眞弓サブリーダーの説明資料は、こちらをご覧ください。

3. リスクセンス推進研究会

中田リーダーより以下の報告がありました。

- ・ 研究会の名前を会の趣旨に合わせ今回よりリスクセンス推進研究会とする。
- ・ リスクセンスフォーラムを来年3月10日 東大 弥生講堂で開催し、第一部の2017年度 Good Safety Education Facility の顕彰で、当部会の宮下さんが顕彰委員を務める。また、第二部の2017年度 Good Risk Sense Award の顕彰と記念講演では、当部会の梅里さんが第三者審査委員長を務めるので、皆さんの参加をお願いします。
- ・ リスクセンス推進を中小企業、一般企業への普及に会員の皆さんの協力をお願いしたい。

中田さんの説明資料は、こちらをご覧ください。



講話 大腸癌の診断と治療

昭和大学の横浜消化器センターで10年間、内視鏡センターで5年間多数の患者さんの小腸、大腸を検査して来られたご経験を豊富なデータで説明頂いた。

大腸がんは、男性は患者数が年間10万人で肺、胃について3番目、女性は、患者数78千人で第一位で罹患の要因の第一は、高タンパク、高脂肪の食事と食物繊維の摂取不足であるとのこと。

早期発見であれば、内視鏡手術で容易に摘出できる。

いくつかの重い症例を紹介頂き、定期検査を励行し、早期の段階で発見する大切さを認識された講話であった。



今後の技術部会のお知らせ

2018年度第1回の定例会を2月13日(月) 14時より、青山のウイメンズプラザで開催します。

多数の会員の皆様のご出席をお待ちしております。

編集後記

今回の講話は、昭和大学 内視鏡センター長山村冬彦先生に「大腸がん」のお話でした。様々な種類の「がん」がありその治療方法も多様化しているとのことで、動画を交えた興味深いお話でした。誠実なお話しぶりで、困難な状況の下で治療にあたっておられる姿が目につかぶようで、先生のお話しには頭が下がりました。

今年1年間、ご支援を頂き有難うございました。世話人として拙いながらもその役目を果たせましたのも、偏に皆様方のご支援の賜物と理解しています。来年は成田さん（世話人）、酒井さん（副世話人）が担当されます。今年に引き続き来年度も、ご両名にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

世話人 立石裕夫

今年度の技術部会活動は、立石世話人の積極的な運営で会員の皆様が関心いただけるテーマが多かったと思います。

この1年間 副世話人を務めさせていただきましたが、立石世話人を十分補佐することが出来ず忸怩たるものを感じております。技術部会発足15年目に当たります来年1年間、酒井和幸さんと共に、会運営のお手伝いをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

編集文責 成田 嘉宏